

臨床実習での服装、身だしなみについて

令和8年1月7日
医学科教務学生委員会

● 基本方針

学生が臨床現場でふさわしい身だしなみを整えることは、患者を尊重する姿勢や、医療に真剣に取り組み信頼を得ようとする態度を示すものである。また、自己や患者を含むすべての関係者に対して、感染防御を含む安全な医療提供につながる。

● 身だしなみの原則

- ✓ 清潔であること
- ✓ 不快感を与えないもの
- ✓ 機動性が確保できるもの
- ✓ 医療安全および自らの安全が確保できるもの
- ✓ 施設・診療科・指導医から特別に指示がある場合はそれに従う

● 服装、身だしなみの基準

A) 名札（臨床実習生（医学）証）

- ・実習中は常時着用する。病院内では必ず着用する¹

B) 医療用ユニフォーム

- ・白衣の着用は自由とする
- ・スクラブ上下の着用を可とする
- ・白衣の下に着るものは、襟付きの白いシャツかスクラブとする。
- ・ワイシャツの場合、ネクタイ着用を必須としない

×禁止：白衣以外の上衣、ジーンズ、ジャージ、七分丈ズボン、ショートパンツ²

- ・自宅で着替えてこないこと。ロッカー室で着替える³
- ・医療用ユニフォームの着用は原則、病院敷地内にとどめること。着用のまま、敷地外の飲食店などに行かない。地域医療活性化センターに病院から移動する際には、何か上に羽織るなどして、明らかに医療者とわかる格好（スクラブ上下のみなど）での移動を行わない³

C) 頭髪

- ・肩より長い頭髪は後頭部でまとめて顔や肩にかからないようにする⁴

×禁止：目立つ色(室内で染めていることが容易に判別できる明るい色、面談している者の視線が頭髪にいく色)、奇抜なヘアスタイル、大きな髪留め⁵

D) メイク・アクセサリー・香水等

×禁止：華美なメイク、匂いの強い香水・整髪料⁶

×禁止：アクセサリーは実習に不要であるので着用しない（ピアス、イヤリング、ネックレス、指輪等）⁷

E) 靴

- ・病院での実習にふさわしい靴（スニーカーや医療用サンダルなど）を使用する
- ・つま先から足の甲、および、かかとを覆う形状で、足音が小さいもの、色は白や黒など地味な色のもとする⁸

×禁止：汚れた靴。派手な配色、厚底、ブーツ、ハイヒール、サンダル。クロックスのような穴が開いている靴⁸

F) 爪

- ・短く切る⁹

×禁止：ネイルアート⁹

【注釈】

- 1 患者・指導医・その他病院関係者に自らの立場を示すため。名札を着用していない者は不審者として扱われることがある。
- 2 体液などにより体表が汚染されることを防ぐため、病院の環境にそぐわないため。
- 3 感染制御および他者に与える印象から不適切なため。
- 4 患者に頭髮が触れないようにするため、処置中の術野の汚染を防ぐため。
- 5 病院の環境にそぐわない。大きな髪留めは処置中の落下のおそれがあるため。
- 6 患者に不快感を及ぼす可能性があるため。嗅覚も診療において重要な感覚であり、強い香りにより患者の状態の変化に気づかない可能性があるため。
- 7 術野への落下、紛失のおそれあり。せん妄状態の患者によりアクセサリーが引っ張られることで患者や自身の怪我に繋がるおそれがある。
- 8 移動の際の転倒・脱着、刃物による怪我や体液の飛沫などによる汚染を防ぐため。病院の環境にそぐわない靴は控える。
- 9 清潔を保つため、診察時に患者を傷つけないため。